

統合小学校建設事業における付帯意見

1 3小学校校舎の跡地・跡施設利用について

統合に伴い廃校となる3小学校校舎を、住民のために役立つ施設としての再利用を図られたい。そのために、跡地・跡施設の有効利用について、統合小学校の建設と平行して検討していただきたい。

2 学校教育の充実

①小中一貫教育校が整備されれば、保育所から中学校卒業までの15年間、クラス替えのない、同じクラスメイトの環境の中で教育を受けることになる。子どもたちに与える影響が不安であるので、保護者を対象にした研修会を開催されたい。

②塩江地区の英語指導助手派遣事業については、合併協議において、平成23年度から高松市の制度に統一することになっているが、小中一貫教育校として特色ある教育を行っていく観点からも、制度として途切れることのない継続した事業の実施を図られたい。

3 教育環境の整備

①塩江地区学校統合事業において示された塩江中学校の敷地は、過去の台風時に香東川の増水により被災を経験している。学校は地域住民の避難場所にもなることから、児童・生徒、保護者や地域住民が安心できる、災害時に対応した用地の整備をお願いしたい。

②通学路の距離や交通量、不審者対策などに対し、安全・安心な学校教育環境の形成や、保護者の不安や負担を軽減するため、スクールバスの運行を図られたい。

また、バス通学による体力低下の予防策として、学校全体で体力づくりに取り組まれたい。

③共働きが増え、核家族化が進む中、安心して子育てと仕事ができる環境整備のため、校舎内において学童保育に取り組まれたい。